

ここが聞きたい!!

一般質問

6議員が村政を問いました

・製材工場の誘致・建設 ・高齢者福祉の推進



五十嵐正雄議員

村として、製材工場の誘致・建設に向けた取組みが急がれていますが、村長の考え方と今後の取組みを伺います。

中村村長

製材工場につきま

問 占冠村では、森林を生かした村づくりを最重要課題の一つとして取組みが進められています。豊富な森林から産出される木材は品質の優れたものも多く地元で加工し販売することが必要です。

今後、公共の建築物の着工、木工加工品の原料となる原木の製材加工・提供、近隣町村への建築用材の供給、地域での雇用拡大等が期待されます。

1 製材工場の誘致・建設

料、家畜飼育での牛舎用材、それらを製材する際に発生する端材の木質バイオマスへの利用など製材工場があることによるメリットは十分理解しています。占冠村木質バイオマス生産組合やしもかぶ工場の意向も確認しながら、企業誘致に向けて取組みを進めていく所存です。

2 高齢者福祉の推進

問 来年4月から小規模多機能型居宅介護施設のサービスの提

供が始まります。高齢者・家族の思いをかなえ、安心してこの村で生活するために、充実したサービスの提供が求められています。村が考えるサービス、社会福祉協議会が考えるサービスの質・内容に違いがあつてはなりません。

来年4月に向けて村担当職員、社会福祉協議会職員との話し合いの場を多く設け、高齢者・家族の要望に応え、長くこの村に住めるようにしていかなければなりません。村長の考えを伺います。

中村村長

小規模多機能型居宅介護施設は、来年4月からスタートします。行政といたしましては、本施設の活用方法などについて随時内部打合せを行っております。また社会福祉協議会に職員を2人派遣しております。村の意向を伝えていくところであります。加えて月に1度行っている双方の担当者によるケア会議におきましても、同施設の課題を提起しながら意見交換を行い、諸課題の協議、検討を行っているところです。いずれにしても本施設の有効活用と充実したサービス提供に向けて、今後さらに社会福祉協議会とは協議を進めてまいります。

問 直接住民と接する機会の多い職員の話を大事にした取組みが大切と考えますが、村長の考えを再度伺います。

中村村長

担当者のところに

具体的な要望・要求もきていると思われまふ。そういったものを一つ一つ整理し、法的にどの辺りまでやれるのかも含めて担当者段階で整理していく必要があると考えまふ。

有効なサービスが提供できるような施設にしていきたいと思います。協議を継続していきます。



デイサービスセンターの様子

自治功労者表彰を受賞

相川繁治議長が北海道町村議会議長会から自治功労者表彰を受賞されました。

6月16日開会の第3回定例会に先立ち、小峰副議長より表彰伝達が行われました。



人口急減社会への対応 ・ 自主防災組織



木村一俊議員

1 人口急減社会への対応

対応

育成をしていかなければと思いますが、村長が考えている対策をお聞きます。

中村村長 人口減少は重要な課題と認識しています。平成24年度に将来の人口減少を見据えた総合計画の見直しを行い、重点施策を決定しました。魅力と活力のある地域づくりに向け、村民参加による集落対策を進めることで、村民が安心して暮らせる持続可能な村の実現に取り組んで行きたいと思えます。

問 5月の報道で2040年には全国の半分にあたる896の自治体が、北海道でも約8割の147市町村が消滅する可能性があると示され衝撃をもちました。村でも総人口が758人となり、20〜39歳の若年女性人口が95人となるという数字が示されました。どう感じたのかお尋ねします。

中村村長 行政を担当するものにとって衝撃的な数字であったと感じています。

問 問題の本質は、自然減が続く、都市への人口流出によって地方の人口減が進んでいるというところで、若者が結婚し子どもを産み育てることができない村をつくり、雇用促進のために企業

会議で各委員からご意見をいただきながら事業計画の内容を取りまとめ、子ども・子育て対策を進めていきたいと考えています。

3 山菜加工場 産地偽装問題

問 補助金の返還を考えているのか、また今後の助成策の継続についての方針をお聞きます。

中村村長 助成金の返還要件に当たらないと考えていますが、監督官庁の調査の推移を見て判断・対処していきたいと思えます。

問 JAS法に基づく判断を待つということですが、雇用の受け皿として山菜加工場の果たす役割は大きいものがあります。傍観するだけでなく、可能な支援・対応を考えるべきではないでしょうか。

中村村長 一定の処理が完了した段階で山菜加工場と協議を進めていきたいと考えています。

4 村の木質 バイオマス利用

問 村の森林資源を活用していくということ、昨年湯の沢温泉の薪ポイラー導入にあたり、

木質バイオマス生産組合が村内林業事業体の合従(がつしょう)連衡(れんこう)で設立されました。この生産組合を育てていかなければ、担い手がいなくなり、今後の施策遂行が困難になると思います。残念ながらこれから建設される施設や共同住宅においても薪が採用されず、政策に一貫性が感じられません。考えをお聞きます。

中村村長 木質バイオマスの有効利用を中心に進める考えに変わりはありません。

問 迅速な対応を考えていかなければ、生産組合は大変な状況を迎えると思います。もう一度お答えいただきたい。

中村村長 とりあえず二ーズ調査を行い、村内・村外への販売も検討し、消費拡大を図るとともに木炭の生産等も働きかけていきたい。

5 猟区設定

問 猟区設定事業の開始時が2人の地域おこし協力隊の雇用の終了時期と重なり担当者がいなくなるが、この事業の展開や対応に支障が出ないのかお尋ねします。

中村村長 2人の担当については占冠村への定住の意向が強く、猟区管理だけでなく自然環境も含めた野生動物植物の管理を担う部門も必要と考えています。

6 自主防災組織

問 占冠村地域防災計画が出来ました。「地域」はどのような範囲を想定し、その体制・組織をどう考えていますか。

中村村長 村としては、行政区単位、または隣近所を想定しています。具体的な行動としては、防災情報や避難勧告などや安否確認、高齢者や障がい者の避難介助などのソフト対策を担っていただきたいと考えています。

問 活動に必要な資機材の整備に支援を考えていますか。また防災リーダーの育成を図るべきだと思いますが。

中村村長 自主防災組織をどういう形で組んでいくのかは、地域ごとに相談して進めていきたいと思えます。必要な機材等の支援は村で行う必要があると考えています。防災リーダーの育成は当然進めてかなければならないと考えています。

公共施設の遊具の点検 市街地の報道の補修



佐野一紀議員

1 公共施設の遊具の点検

点検

問 子ども達が屋外で遊ぶ機会が増えており、安全に遊具を利用していただくために、公園・保育所・学校等の遊具は、役場の担当者が点検しているのか、業者が点検しているのか伺います。

中村村長 遊具の点検は通常、担当者が目視で点検しているが、平成25年度には各小中学校、保育所の遊具は専門業者が目視による点検を実施しています。

問 業者、あるいは担当の方が目視で点検しているのとこのですが、より密な方法もあると考えます。腐食の進んだ遊具、遊具の基礎部分が剥き

出しになるなど危険な個所もあります。

利用者の自己責任と言われませんが、管理者である村の非も問われると考えます。早急に点検補修を行っていただきたい。

また、利用度の少ない遊具については更新時に遊具の選定を考えてはどうか伺います。

中村村長 遊具の老朽化、現在の遊具の中に安全基準を満たしていない遊具もあると考えています。

公園等の遊具施設の定期点検は今年7月に専門業者による現状確認をする予定です。遊具の定期点検と各施設の計画的な遊具更新を行い、子ども達の安全確保をはかっていきます。

2 市街地の歩道の補修

問 国道沿い市街地の歩道のセクター部分にある下水道のマンホール付近の陥没部分は補修されたが、歩道の表面ブロック版は劣化が進み大変通行上支障をきたしています。関係機関に補

修等を要望してはどうか伺います。

中村村長 巡回により優先度、危険度の高い箇所から随時補修をしているとのことですが、特に広範囲にわたり劣化が激しい箇所についてはアスファルト舗装により、この間工事が実施されており、開発局から危険箇所は優先して行うとの回答を頂いており、特に安全性において補修が必要な箇所については村も積極的に要望していく考えです。

また、利用度の少ない遊具については更新時に遊具の選定を考えてはどうか伺います。

3 赤岩トンネル内の出水について

出水について

問 3月にマンホール内の石粉除去工事がされましたが、一向に改善されません。除去すれば一時的に改善されますが、また石粉が流れ配管が詰まり出水、冬期であれば水結します。そういう状況の繰り返しです。

中村村長 国道274号や高速道路の迂回路として重要な役割を担っている赤岩トンネルです。費用対効果のみでなく安全が最重視されなければなりません。

合わせて作業員の安全対策に配慮して要望をしてはどうか伺います。

中村村長 赤岩トンネルの状

態が冬期間までに及ぶと、大変危険な状態であると道も認識しておりますが、石粉が噴出する危険な状況は改善しております。

北海道における赤岩トンネルの対策については7月末を目標に新たな工事が発注される予定と伺っています。舗装をはがし道路中心部にマンホールを増設

し、噴出する水を除去する内容であり、同時に地下の改善をはかることで石粉の路面への噴出がなくなると聞いています。工事が行われる際には2日間ほど通行止めが発生するので北海道と連絡体制を取りながら、安全対策にも協力していきたいと思えます。



へき地保育所の遊具(中央)